

大田区パソコン同好会に入会した頃

OPC のホームページを読んだり見たりすると今では懐かしく思い出される人生のページがある。それで少し HP を検索してみる。「大田区パソコン同好会」で HP へ入り、「例会活動へ」をクリック、次ぎに「池上松濤園撮影会」に進む。

2006年10月のデジカメ・グループの撮影会ページであるが、参加者の中に自分も写っているし私のデジカメをクリックして撮った写真も二枚載っている。

そこから当時の懐かしい思い出が頭に広がる。先ず老後の楽しみを探していた頃で地元活動をまったく経験してこなかった私はまとまった趣味も持たなかったこともあり、仕事で使ってきたパソコンを道具として遊ぶことができれば楽しいだろうと考えて大田区に相談して OPC の存在を知った。それは前年の2005年だったと思う。



前後の4年間、私は妻を連れてしょっちゅうチェコや米国その他友だちが多くいる国を訪問して遊んでいた時代。友だちにも一緒に行きたい方が多く団体になったことも10回、日本文化の紹介などして楽しい人生の数ページを作っていた時代でした。

(画像説明: OPC の HP の写真をコピーし、サイズを半分にして上に挿入; 挿入サイズは160x120, HP 上ではカラー写真)

OPC については、デジカメ例会に何度か出席したのですが撮影技術はともかく画像加工はさんざん操作した結果としてどうしても楽しむことはできず同好会に足を運ぶことはなくなりました。その辺りの自分の時代を上「池上松濤園撮影会」を読んで思い出すのです。

ところが、当時会長として活動されていた伊山さんは家がお互いごく近いこともありたまに会って雑談などする機会があった。思い出せば当時は矢口の渡駅前にマクドナルドがありコーヒー一杯で長談義となった。

そして、ワード例会のリーダーが急に会をやめるといので私にその役を引き受けてくれないかと会長から打診があった、マックでコーヒーをのみながら。

「大田区パソコン同好会」のホームページから以上が懐かしく思い出されるこの頃です。

さて、パソコン同好会を思うに観点がいろいろありますが、大田区在住のシニアが集まりパソコンを通して好きな事を楽しみ、時折食事会となり、年に何度かイベントを実行して盛り上がる、その様な組織だと思います。知的な挑戦の場という点でもとても意義あると思います。しかしながら、シニアには運動が必要であり、自然発生的に外での活動が生まれました。撮影会です。最近は健康に良いという自彊術で若返りを試みる方が小野さんがリーダーとして活躍されている勉強会の一部として育ったそうです。会長が自彊術のリーダーですからもうすぐ我が同好会のホームページにも紹介されるでしょう。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

私は思う。仲間をつくりお互いが励まし合って学ぶ、そしてお互いの趣味を出しあって自由時間を楽しむ、余裕があれば少しでも社会貢献をする、そんな OPC でありたい、と。

OPC も新たな局面を迎えつつあると感じています。さらに意義のある同好会に進化するだろう、と。

藤本健一

横着をきわめ窓越し花見酒

山川欣彌